

2022年2月4日

各 位

会 社 名	株式会社免疫生物研究所 (コード番号: 4570)
本店所在地	群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者	代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先	常務取締役業務執行責任者 中 川 正 人 兼事業グループ管理本部長
電 話 番 号	0274-22-2889 (代表)
U R L	https://www.ibl-japan.co.jp

営業外費用、特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第3四半期連結累計期間(2021年4月1日~2021年12月31日)において、営業外費用(持分法による投資損失)、特別損失(完全子会社への資金の貸付に対する貸倒引当金の繰入)の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 持分法による投資損失(営業外費用)の内容

当社の持分法適用関連会社であります株式会社CURE D及び株式会社A I B i oの損益の持分割合部分及びのれんの償却を第2四半期連結累計期間に営業外費用の持分法による投資損失として57,180千円計上しておりましたが、2021年4月1日から2021年12月31日に係る期間の両社の損益状況等に鑑み、追加で46,687千円損失を計上いたしました。この結果、2022年3月期第3四半期連結累計期間における持分法による投資損失は103,868千円となりました。

(参考)

【株式会社AI BIO(以下、「AI BIO」)における研究開発の状況】

当社は、韓国企業のAbcontek, Inc(代表者:孫永善、ソウル市、以下ABCONTEK社)との間で、合弁会社(2020年12月21公表の「合弁会社(持分法適用会社)設立に関する合弁契約締結に関するお知らせ」参照)を設立(2021年2月16日)いたしました。

AI BIOは、「ダニ媒介性感染症である重症熱性血小板減少症候群」(SFTS)のウィルスに対する抗体の実施許諾権を取得し、治療用抗体医薬品の実用化を目指し、研究開発を実施しております。

現在、CDMO(医薬品受託開発製造)企業にてマスターセルバンク(MCB)及びワーキングセルバンク(WCB)を製造し、抗体の生産及び製造工程の開発をおこない、カニクイザルによる前臨床試験を実施できる段階になりました。なお、開示が必要な事項が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 完全子会社への資金の貸付に対する貸倒引当金の繰入の内容(個別決算)

当第3四半期連結累計期間の個別決算におきまして、当社の完全子会社である株式会社ネオシルク化粧品に対し資金の貸付を行っている金額について貸倒引当金を計上しておりますが、当連結累計期間の同子会社の財務状況に鑑み、4,089千円を追加で貸倒引当金に繰り入れ、関係会社貸倒引当金繰入額として同額を特別損失に計上いたしました。この結果、当連結累計期間における関係会社貸倒引当金繰入額の額は9,773千円となりました。

なお、上記の関係会社貸倒引当金繰入額は、今後の同社の業績の状況により変動いたします。また、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

以上